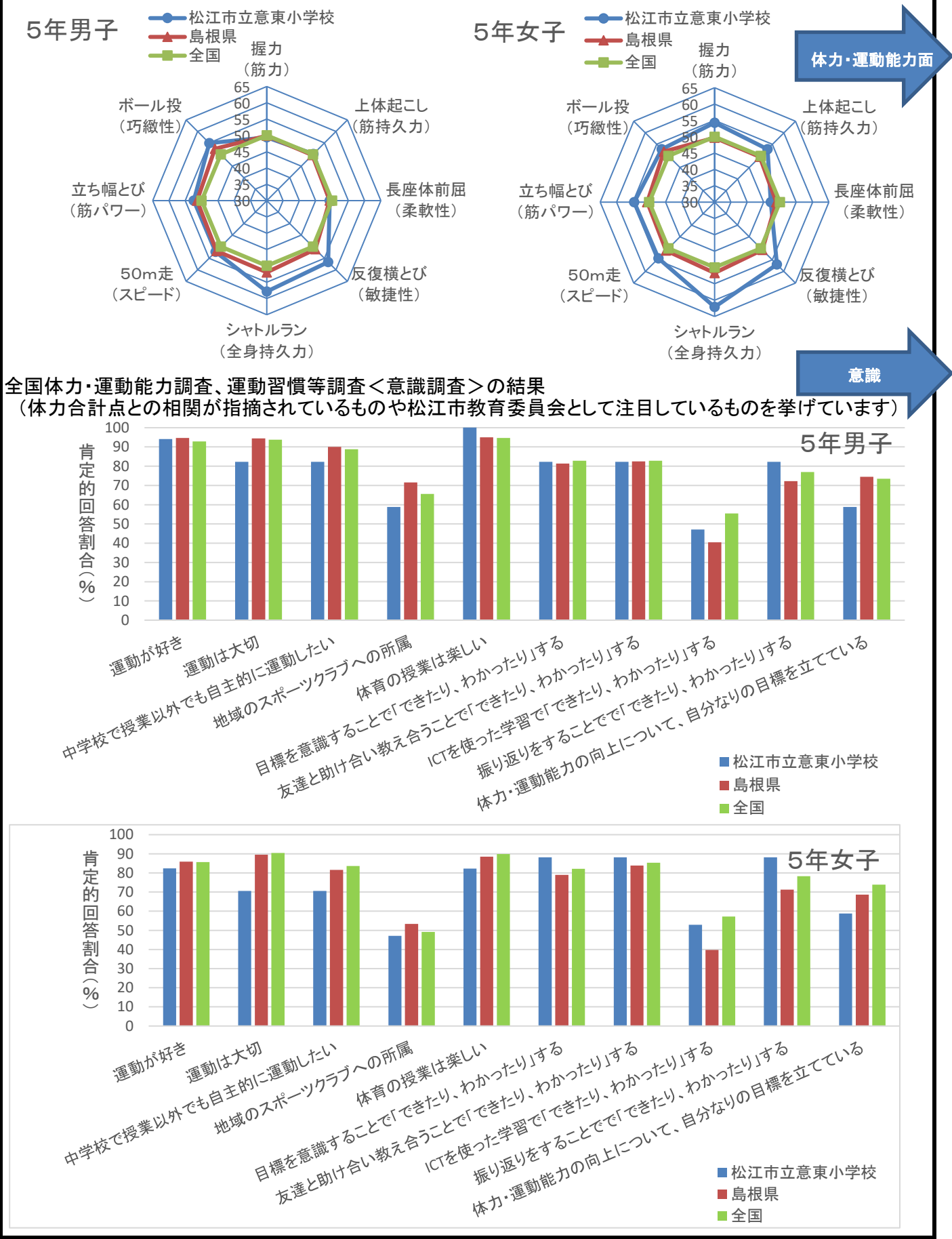


(1) 令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果(全国平均を50としたときの比較)



(2) 調査結果の分析

① 体力・運動能力面 全国(偏差値)との比較

	握力(筋力)	上体起こし(筋持久力)	長座体前屈(柔軟性)	反復横とび(敏捷性)	シャトルラン(全身持久力)	50m走(スピード)	立ち幅とび(筋パワー)	ボール投(巧緻性)
男子	-0.6	0.2	-0.7	6.6	7.9	2.2	2.4	4.9
女子	4.3	2.9	-2.8	7.0	12.1	4.3	4.6	2.9

【-5p以上】 【-5~-2p】 【-2~0p】 【0~2p】 【2~5p】 【5p以上】
弱み ← → 強み

② 意識面 全国(割合%)との比較

	運動が好き	運動は大切	中学校で授業以外でも自主的に運動したい	地域のスポーツクラブへの所属	体育の授業は楽しい	目標を意識することで「できたり、わかったり」する	友達と助け合い教え合うことで「できたり、わかったり」する	ICTを使った学習で「できたり、わかったり」する
男子	1.2	-11.5	-6.5	-6.8	5.4	-0.5	-0.5	-8.4
女子	-3.3	-19.8	-13.0	-2.1	-7.6	6.0	2.9	-4.3

振り返りをする中で「できたり、わかったり」する
体力・運動能力の向上について、自分なりの目標を立てている

男子	5.3	-14.7
女子	9.9	-15.1

【-7%以上】 【-7~-3%】 【-3~0%】 【0~3%】 【3~7%】 【7%以上】
弱み ← → 強み

(3) 令和6年度の方針【学校全体での取組】

- 【重点項目の設定】
- ・1年間(1学期→3学期)で、握力の記録が全校児童の平均で1kg以上伸びることを目指す。
 - ・校庭や体育館で積極的に体を動かして遊ぶ児童が85%以上になることを目指す。
 - ・「できなかったことができるようになった」という質問に対する肯定的な回答が、90%以上になることを目指す。
- 以上の目標を達成するために、
- ・児童の体力向上のための学年としての目標を設定する。
 - ・握力をつけるために、屋外で体育を行う際は、サーキットトレーニングで雲梯や登り棒での運動を取り入れる。
 - ・鉄棒の補助具を充実させ、鉄棒に触れたい環境をつくる。
 - ・体育の学習の初めに五種目歩走、主運動につながる運動、鉄棒セット等を実施し、運動の基礎感覚が身に付けられるようにする。
- 【体育の授業を充実させる】
- ・教員にアンケートを取り、高めたい指導技術や方法等についてのニーズを把握する。その結果をもとに、研修の時間を確保し、学期に1回程度実施することで、指導力の向上を図る。
 - ・体育の授業について、授業づくりの仕方や効果的だった手立てや場づくりの工夫等の情報交換を行うとともに、気軽にお互いの授業を見合うようにする。
 - ・各運動の系統性を整理し、各学年でつける力を共通理解する。
- 【体を動かして遊ぶ機会を増やす】
- ・縦割り班で遊ぶ場を学期に1~2回設定し、普段の遊びに広げられるようにする。
 - ・体育的な行事に向けた取り組みを委員会とタイアップして実施し、遊びを通して体力向上につなげられるようにする。
 - ・遊びの道具や場を整備し、遊びたい環境作りをする。